

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 9

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪
事務所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
TEL. 06 (6772) 2320
FAX. 06 (6772) 2327
E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会長 切石博之
会長ノミニー 浅野光男
副会長 宮崎康治
幹事 細川勝治
会報委員長 岡田忠彦

BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS

地域を育み大陸をつなぐ

2010~2011年度 国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス

第1780例会 平成22年9月13日(月曜日) 第9号

本日の例会 9月13日(月) 第2例会

- ◎ソング 「我等の生業」
◎卓話 「四大奉仕」と“手続き要覧”
ゲストスピーカー R1第2660地区IM第4組
ガバナー補佐 山片重房様
◎本日の献立 松花堂弁当

次回の例会 9月16日(木) 第3例会

- ◎移動例会 「秋の家族会」
二十一世紀歌舞伎組公演及び食事会
◎9月27日(月) 上記の振替休会

前回の例会記録 9月6日(月) 第1例会

- ◎ビジター 大阪平野RC 小寫美恵子様 他1名

会長挨拶 会長 切石博之

今日は9月の第一例会です。9月は長月と言われ、夜が次第に長くなる月という意味で夜長月を略したものです。

今日の俳句は、

女の香放ちてその名をみなえし 稲垣きくの

「女郎花」と書いて「をみなえし」と読みます。「をみなえし」はその花の風情から色気を感じさせる花で

あり、古くは「万葉集」にも詠まれています。

この句は名も姿も最も女らしい「をみなえし」のようでありたいとの願いを込めた句であると思います。

さて、話は変わりますが「秘密のケンミンショー」と云う番組の視聴率が高いようであります。中でも大阪が面白いようであります。チョット極端な取り上げ方のようにも思うですが。

その大阪の言葉について、感じている事を申しあげます。大阪の言葉には独特のニュアンスがあります。「考えときまっさ」と云えば、「ハハアーン、これは断われているな」とすぐに理解します。しかし、関東の人は「考えときまっさ」を顔面の通り「考えてくれているもの」と受け取ってしまいます。

後日、関東の人が「あの話は？」と聞いてこられる。我々大阪の人にすれば「きちんと断わったのに、分らんやっちゃ」と思い、関東の人は「考えておくと云ってたのに。大阪の人はずるいなあ」と云う事になり、両者に誤解が生れてしまいます。

大阪の言葉には独特のえもいわれぬニュアンスと云うか、含み・膨らみがあります。大阪人同士の人間関係を円滑にする一つの要素と云えると思います。大阪の言葉の微妙な表現方法は、その善し悪しは別として、否定的な云い回し、直接的な云い回しを避けたいと云う大阪の人のやさしさ、商いの知恵から生れた大阪の風土によるものではないでしょうか。

これからも、大阪の良さは絶やす事なく大切に守りたいものです。

幹事報告

幹事 細川勝治

1. 次週例会、9月13日(月)は山片ガバナー補佐訪問日でございます。全員出席となりますようご協力の程、よろしくお願い致します。例会終了後、第3回クラブ協議会、引き続き第3回定例理事・役員会を開催いたしますので、理事・役員・各委員会委員長各位にはよろしくお願い致します。

出席報告

金子(勝)委員

本日の会員数	39名
本日の出席者数	31名
本日の出席規定適用免除会員	11名
本日の出席率	91.18%
8月23日の修正出席率	91.43%

9月のお祝

- 入会記念日 瀧田 宮崎 (各会員)
- 会員誕生日 林 近藤 藤原 佐藤 (各会員)
- 夫人誕生日 木村 尚枝様
- 結婚記念日 細川会員
- 創業記念日 瀧田 金子(誠) (各会員)
- 8月の内祝ニコニコ 累計 415,000円
- 8月のニコニコ箱 27,000円 累計 53,000円

卓話

「私学助成について」

小林 成共

卓話担当の小林です。宜しくお願いいたします。今日はあまり面白いお話ではないのですが、私学助成についてお話させていただきたいと思います。

私立に通う生徒に対しては国よりのお金と地方交付税としてのお金との二本立になっております。国(文部科学省)よりのお金は私立に通う生徒に均一に支払われております。地方交付税としてのお金は都道府県に配当されておりますが、県によって各学校に支払われているお金にばらつきがあり、県の懐事情により他への流用も現実的に起きております。これによって各県の平均授業料にもかなり影響が出ております。

又、大阪府を例に取りますと生徒一人一人への公費支出は府立高校で約80万円、私立高校では約35万円と同じ税金を払っている府民にとって2重の税負担となっております。昔は私立学校はお金持ちが行くという固定概念が有りましたが、現在ではみなさんご存知の通り所得格差が学力格差となり、学力の低い生徒ほど私学に行く傾向にあります。もちろん学校のレベルにもよりますが、昔と違い所得の低い家庭の子供たちが私立に通うことが多くなっております。その為には

国や府の公費支出が公立・私立にも均一に行なわれる必要があります。本年度に入り公立高校の無償化となり、益々私立との格差が広がる一方であります。生徒たちに自分の行きたい学校に、親の負担を考える事無く、行きたい学校で学べるようになる事が急務であると思えます。

「新世代のための月間」

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 松本新太郎

9月は新世代のための月間です。今年4月に開催された3年に一度のRI規定審議会において、これまでの四大奉仕に加え第5番目の奉仕として「新世代」が追加されたことは、すでに多くの方が承知されていることでしょうか。このことはつまり、RIにおいても新世代の重要性が、これまでに高く高まっていることの表れであると言えます。

新世代の健全な育成を願ってロータリークラブが展開するプログラムには青少年交換、インターアクト、ローターアクト、RYLA、ニコニコキャンプなどがあります。ロータリアンとしてのみならず、新世代を守り育てることは、人間としての私たちの最大の責務と言っても過言ではないでしょう。自分たちの世代のことばかり考えて、次の世代を育てることを疎かにすれば、人類の未来はいったいどうなってしまうのでしょうか。それはあたかも、育児を放棄した親のようなものです。次世代のことを考えずして、明るい未来はあり得ないはずで。

そしてまた新世代の育成は、我々が担うべき重要な責任であると同時に、私たち自身のためにもなる取り組みであることをこの機会に改めて認識したいと思えます。先に紹介したプログラムのどれか一つだけでも参加したことのあるロータリアンには理解できるはずで。事業を経験した若者たちの充実感や達成感に勝るとも劣らない清々しいものを、ロータリアンである我々自身が得ていることを。そうです、新世代のために行うロータリーの活動は、新世代を育てることができ存在になれるよう、私たち自身が成長する場でもあるのです。

さあ、あなたももう一度考えてみませんか。新世代のためにあなたには一体何かできるのかを。そしてまた、新世代のために今、何ができているか、何をしなければならぬのかを。未来の世界を担う新世代のために。そして新世代を守り育てる使命を担うあなた自身のために。

[ガバナー月信 9月号より]

$$24 \times 35 = 840$$
$$200 \times 50 = 10,000$$